

本号の主な内容

- 01 卷頭言
- 02 クリスマス・震災ボランティア活動
- 03 管理栄養士国家試験
- 04 メディーションルーム完成・学生の活躍
- 06 サバティカル報告・後援会設立
- 07・08 各種報告
- 09 フォトコンテスト入賞作品
- 10 学生募集要項

Lis Blanc

No. 60

学報リス ブラン(白百合)

発行／仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
TEL 022-372-3254 URL <http://sendai-shirayuri.ac.jp>

(転用・転載を禁じます) 編集／大学広報室

クリスマスと、神さまの「片おもいの愛」

健康栄養学科教授 宮崎 正美

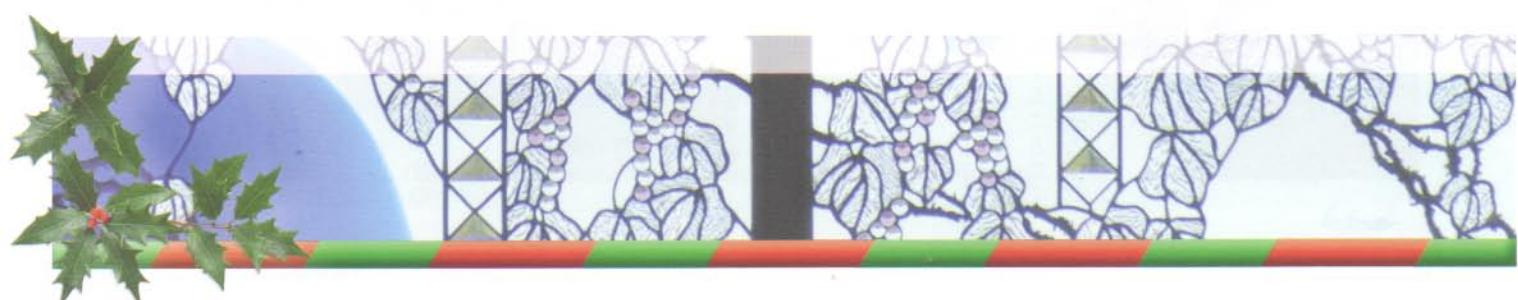
かつて無いほど、いのちについて考えさせられた一年が終わるとしています。悲しみの海をいまだに泳ぎ続いているような気持ちで毎日過ごす人々に、またそうした人々に寄り添う人たちには頭を垂れる思いです。もしまだ同じ規模の地震がと考えれば、自分のいのちを掛けた被災地で活動するボランティア volunteer にはキリスト教の精神を見る思いです。しかし学生に被災地であったのいのちを掛けなさいと言えな私は、神のおもい voluntas を問わずにおれません。そのディレンマの中で神を問います。あなたはどこにおられるのですか。あの日、あの時、誰もが「神は本当にいるのか」と問い合わせる人がいることでしょう。しかし世はその問いを封印して、絆とか人の思いを強調します。問うても答えが返らない虚しさに耐えられないからでしょう。それがみたことか、こんな状況のどこに神がいるのか、と言われるかもしれません。

『なぜ私をお見捨てになつたのですか。』神は人を愛される、どんな者も見捨てない、と福音を伝えたそのイエス自身が、神に呪われ人に見捨てられこのように叫んで死んだ。神は人を見捨てる神なのか？しかし神はイエスを復活させた。人のいのちを愛おしみ、死に伏した人すら見捨てない神が、今も、人間を愛しておられる。だが人はそ

る限りです。もしまだ同じ規模の地震がと考えれば、自分のいのちを掛けた被災地で活動するボランティア volunteer にはキリスト教の精神を見る思いです。しかし学生に被災地であったのいのちを掛けなさいと言えな私は、神のおもい voluntas を問わずにおれません。そのディレンマの中で神を問います。あなたはどこにおられるのですか。あの日、あの時、誰もが「神は本当にいるのか」と問い合わせる人がいることでしょう。しかし世はその問い合わせる人がいることか、こんな状況のどこに神がいるのか、と言われるかもしれません。

「地には平和、御心 voluntas に適う人にあれ」
(ルカ二章十四節)
クリスマスは、神の独り子、ひとりの嬰児のいのちを祝います。そのいのちの『なぜ』に答えは無く、苦しみの中でも見捨てられるよう見えるのに。たったひとつひとつのいのちを永遠に記憶し愛される神のおもいに応えるなら、この日は、すべての人の happy birthday。クリスマスの街の灯りの一つ一つが祈りの灯明となりますように。そして、神のおもい voluntas に心を寄せつつ、春(キリスト復活)を待ち望みたいとおもいます。

「これに応じているだろうか？」(講義ノートより)。



仙台白百合女子大学 2011年度クリスマスの集い

日 時 2011年12月20日（火） 10:00～15:00

会 場 本学講堂

当日のプログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00～11:30 | クリスマスミサ
司式：原田雅樹神父（ドミニコ会司祭） |
| 昼休み | |
| 13:00～14:00 | クリスマスコンサート
①四家昌博（ピアノ演奏）
②ソニド・デル・ビエント（ケーナ演奏）
※スペイン語で「風の音」 |
| 14:00～15:00 | クリスマス会（本学学生のみ） |



クリスマス会以外はどなたでもご参加いただくことができます。下記要領にてお申し込みください。

お申し込み方法 氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号をご記入の上はがき、TEL、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

お申し込み・お問い合わせ先 仙台白百合女子大学 大学広報室

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1

大学広報室直通：TEL：022-374-4475 FAX：022-374-5082

E-mail：koho@sendai-shirayuri.ac.jp

▶ とておきのXmasプレゼント



国際教養学科講師 加藤 美紀

修

道女になつて初めて家族と一緒に迎えたクリスマスは、イエス様からのとておきのプレゼントでした。四年ぶりに三泊四日の帰省が許されて、母の実家に近い京都の西陣教会でイブのミサにあずかりました。結婚した兄と姉はパリとワシントンで夫々の新しい家族と共にXmasをお祝いするこの日を過ごすのは十数年ぶりでした。教会では、ミサ後にキャンドルサービスと懐かしい聖歌に素朴な手作りケーキでパーティーがありました。そのときの父の言葉が忘れられません。兄を司祭にしたかった父は、娘たちには修道女にと望んでいませんでした。その父が、「修道女になることは一生を

賭けるに値するとパパは思つているよ」と覚悟を決めたようと言つてくれたのです。返す言葉が見つかりません。

教会は本当によいものだな・・・と心満ちたりて修道院への帰路についたのでした。

道中、でもやっぱり家族一緒にクリスマスは本当によいものだな・・・と心

でした。

お互いの生活リズムもちぐはぐなこの珍

めの珍

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

▶白百合の絆

私は北関東で地震に遭遇し、上越新幹線やバスを乗り継いで仙台に戻ってきたのは三月十六日であった。卒業式が中止となり、国家試験が延期となり、年度が変わった。被災した四年生は卒業生として就職先での勤務を開始した。

やがて、国家試験の追加試験が七月三十日に行われるとの知らせがあった。学生であれば、これまでと同様に国試対策を行うことができたのだが、卒業し各地で勤務している卒業生に国試対策を行おうにも、大学に来られる人はわずかであった。

最も懸念されることは、生活の確保と維持に精一杯となってしまい、管理栄養士へのモチベーションが低下してしまうことである。

管理栄養士へのモチベーションを維持させ、国試対策のペースメーカーとなるにはどうしたらいいか？ 大学として、学科として、何ができるか？



▶大震災に負けない4年間の絆

健康栄養学科 管理栄養専攻 卒業生 櫻井 明菜

仙台以外で行われた国家試験の問題について、学科の教員がそれぞれの担当科目の解説書き、さらに各教員が激励のメッセージを添えて、全員に郵送した。

「あなたがたは一人じやない。教員は、あなたがたのことをいつも考えていました。大学に来るのもままならないあなたがたの受験勉強に少しでも役に立てばと、解説集をつくりました。勉強していくわからないこと、今までと違う環境で生活していくうこと、何でも相談してください。教員をコキ使つてください」と。

私は被災し、内定先からは自宅待機を言い渡されました。その日を境に勉強はやめてしまいました。その日を境に勉強落ち込む私に母はこう言いました。

「食べ物が大切な今こそ、栄養士の力が必要なんじやないの」

その言葉を聞いた時、自分がどうして管理栄養士を目指すようになったのか思い出しました。内定先には泊まり込みで働く熱意を伝え、勉強も再開しました。

日々の業務に追われながら勉強は本当に大変でした。白衣のポケットに入っていたメーリング・リストで行つた。ついでに、ネットなら国試対策ができる生化学と基礎栄養学について、問題演習のブログを立ち上げた。

健康栄養学科教授 菱沼 宏哉

三

月二十日の管理栄養士国家試験まであとわずかという三月十一日、仙台は東日本大震災で震度六～七の揺れに襲われた。たまたま出掛け

てきたのは三月十六日であった。卒業式が中止となり、国家試験が延期となり、年度が変わった。被災した四年生は卒業生として就職先での勤務を開始した。

やがて、国家試験の追加試験が七月三十日に行われるとの知らせがあった。学生であれば、これまでと同様に国試対策を行うことができたのだが、卒業し各地で勤務している卒業生に国試対策を行おうにも、大学に来られる人はわずかであった。

最も懸念されることは、生活の確保と維持に精一杯となってしまい、管理栄養士へのモチベーションが低下してしまうことである。

管理栄養士へのモチベーションを維持させ、国試対策のペースメーカーとなるにはどうしたらいいか？ 大学として、学科として、何ができるか？

震災に負けず、仕事で疲れた体に鞭打って頑張り続けた卒業生たちに、心から、「ほんとうに、おめでとう！」と申します。

次に、七月までの間に国試対策の模擬試験を実施している業者がいくつかあるので、六月と七月に一回ずつ、受験してもらうことにした。受験料は、全額を大学に負担していただけたこととなつた。

模擬試験は、大学に来られる人には大学で受けてもらい、来られない人には郵送で行つた。

国家試験の延期や日程の確定、模擬試験の受験形態等、さまざまな連絡は、卒業生たちが学生だった頃に形成していたメーリング・リストで行つた。

ついでに、ネットなら国試対策ができる生化学と基礎栄養学について、問題演習のブログを立ち上げた。

結果、五十二名受験で四十二名合格。三月に東京で受験した一名が合格してしまったので、これを合わせると五十三名受験で四十三名合格。合格率八十一・一%という、今までにない数字を出した。

震災に負けず、仕事で疲れた体に鞭打って頑張り続けた卒業生たちに、心から、「ほんとうに、おめでとう！」と申します。

私が国家試験の勉強を始めたのは四年生になつてからでした。なかなか模試の点数が伸びなかつた時期もありましたが十一月の模試では百二十分でセミナーが終わる」と思つてい

た時に東日本大震災が起きました。家試験本番の三月を迎えるました。

しかし、あの三月十一日：「あと十分でセミナーが終わる」と思つてい

た時に東日本大震災が起きました。その時はまだ、こんなにも長期戦にならぬなんて思いませんでした。国家試験の一週間前というタイミングで起きた

大震災に対し、「どうして今なの？なぜこのタイミング？」と何度も思い

ました。震災から二ヶ月、モチベーションが上がりずに全く勉強しない日々を過ごしました。そんな私が再び勉強に取り組んでいます。

▶乗り越えて得たもの

健康栄養学科 管理栄養専攻 卒業生 釜石 彩

私が国家試験の勉強を始めたのは四年生になつてからでした。なかなか模試の点数が伸びなかつた時期もありましたが十一月の模試では百二十分を超え、良いモチベーションで國家試験本番の三月を迎えるました。

しかし、あの三月十一日：「あと十分でセミナーが終わる」と思つてい

た時に東日本大震災が起きました。その時はまだ、こんなにも長期戦にならぬなんて思いませんでした。国家試験の一週間前というタイミングで起きた

大震災に対し、「どうして今なの？なぜこのタイミング？」と何度も思い

ました。震災から二ヶ月、モチベーションが上がりずに全く勉強しない日々を過ごしました。そんな私が再び勉強に取り組んでいます。



メディテーションルーム完成・学生の活躍

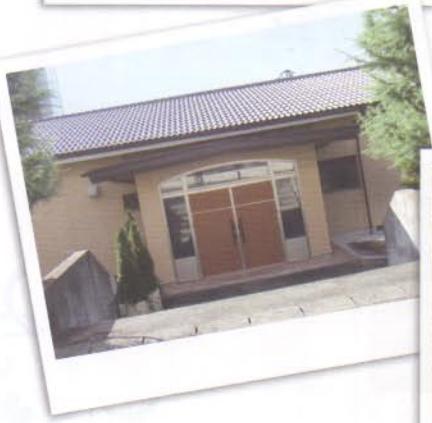
管理課長 高梨 光太郎

東

日本大震災による本学の被害の中で記憶に残る一つは、記念館の被害です。三・一の本震では外壁のクラックが目立つ程度であったものが、四・七の余震では、外壁が崩れ、ベタ基礎に亀裂が入ってしまった。泉区役所の判断では「全半壊」。RC工法を数多く手がけ本学の復旧工事を請け負った前田建設工業株の須崎所長も、取り壊すしかないのではないかと頭を抱えてしまつた。それにも拘わらず不思議なのは、屋根瓦と十字架が全くの無傷だったということ。

取りあえず木造の在来工法工事専門の山形の工務店に相談してみることにした。結果は、修理可能。分かったのは、コンクリート工事では取り壊して新築するしかない程度の被害でも、木造の在来工法ではまだ修理可能であり、直せば立派に使えるということだった。その匠の技に感心するやら、費用が数分の一で済むということで胸をなで下ろすやらだつ

た。工期も新築に較べ大幅に短縮され、六月末に引き渡しを受けた時には、重厚で落ち着きのある姿、復旧越えて新生という言うに相応しい姿に思わず手を合わせてしまつた。今本学記念館は、建学の精神を伝えるメディテーションルームとして、茶の道を学ぶ茶室として、そして、大震災ボランティア体験のために他県から東日本入りする生徒・学生のための宿泊施設として、その機能をフルに発揮している。



▶ ミス・ユニバース・ジャパン ファイナリストに選ばれて

国際教養学科4年 金田 彩奈

去

年十二月から今年六月までの九ヶ月間、私は学業と平行して

当初の予定では今年三月に行われるはずだったファイナルですが、震災の影響で三ヶ月伸びてしまいました。

2011ミス・ユニバース・ジャパン（M U J）ファイナリストとして活動していました。M U Jとは、世界に通用する外見・内面を兼ね備えた美女を目指す日本女性をプロデュースし、その成長プロセスを描く、年間を通じての美の祭典です。

自分のフィールドを広げたい！どんなことにもチャレンジしたい！と

思つていたことが応募のきっかけでした。ファイナリストに選ばれたときは、嬉しいというよりも驚きの方が大きかったです。ファイナリストになつてからはファイナルで一位になるため、日々トレーニングに励みました。ユニバースのトレーニングでは、スピーチ、ウォーキング、栄養学、食事指導、体力づくり、メンタルトレーニングなど様々な分野があります。心身を鍛えるとともに、私は大学で学んだ専門分野を自分の特長にしようと勉強に励みました。

そしてこの度、今までの様々な経験を経て、「2012トリンブイメージガール」に採用されました。今後はさらにいろいろなことを勉強し、モデルとしてだけではなく、タレント、女優と様々な場面で活躍できるよう頑張ります。

仙台白百合女子大学

平成24年度学生会役員一覧

(平成23年度12月～平成24年度12月)

諸役	氏名
会長	伊東 加奈子
副会長	早坂 咲 松浦 未瑠
会計	山浦 ちづる 斎藤 あかね
書記	西村 彩裕里 佐藤 瑞季
総務	開沼 友貴 長谷川 睦美 小笠原 千穂 阿部 彩 菅原 美早紀 田中 亜弥
会計監査	大友 麻梨美 加藤 詩乃

このようにして、私は多くの経験を積み、自分自身を成長させてきました。また、この経験が今後の人生に大きな影響を与えることでしょう。



サバティカル報告・後援会設立

人間発達学科教授 大道 直人

こ

の四月初めから九月末日までの六ヶ月間、サバティカルの機会を与えていただき、二十年振りとなる聖地イスラエルで研究に取り組むことができました。



イマヌエル・トプ教授と共に



ベイト・ジマール



アビグドール・シナン教授と共に

三十二年前の一九七九年春から一九八七年春までの約八年間と二十一年前の一九九一年夏の二ヶ月半はヘブライ大学で化学の研究を行いましたが、今回全く異なる分野、第二神殿時代を中心とした宗教歴史学分野での研究でした。テーマは「ベート・ジマールを巡るキリスト教の伝統とユダヤ教の立場」。ベート・ジマールは土地の名前で新約聖書に出てくるガマリエルに因んだ名とされ、この地に石打ちされた初の殉教者となつたステパノおよびニコデモ、さらにガマリエル自身との二番目の息子アビボスの墓があるというのがこの地にまつわるキリスト教の伝統です。

この伝統の裏付けを考古学的に明らかにしたローマ教皇立サレジオ大学のアンドレ・ストラス教授（五年前に他界）からサイン入りの著書を頂いたことが今回の研究の直接的な動機となつたのですが、六月にはそのサレジオ大学を訪ねストラス教授の親しい友

人だつたコラツド・パスツール司祭と一緒に花京院通りにあつた仙台白百合学園では、教職員・父兄・卒業生が永年に亘つて短期大学の設立を希望していました。花京院通りの土地は狭く、短大を併設することは出来ませんでしたので、土地探しの結果、当時宮城郡泉町と呼ばれていた現在の地に短期大学を設立することになりました。その頃はまだ地下鉄や国道四号線も整備されておらず、見渡す限り田んぼと畑の中でした。学生達の通学、教職員の通勤にも厳しいものがあり、当時の保護者の方々のご厚意により、「父兄後援会」が設置され、いろいろご支援頂きました。

その後二〇〇三年の仙台白百合短期大学閉学と同時に後援会も廃止となり、女子大学には引き継がれませんでした。しかし、昨今の社会情勢の中で、入学から卒業まで学生達を取り巻く環境には課題が多く、大学教育の場においても家庭との連携の必要性を痛感するようになりました。

▶仙台白百合女子大学 後援会 設立の経緯

学長 和田 美稚子

仙

台白百合女子大学は一九六六年四月に開設された仙台白百合短期大学をその前身としております。当期六年以上の歴史をもつて仙台駅近く花京院通りにあつた仙台白百合学園では、教職員・父兄・卒業生が永年に亘つて短期大学の設立を希望していました。花京院通りの土地は狭く、

短大を併設することは出来ませんでしたので、土地探しの結果、当時宮城郡泉町と呼ばれていた現在の地に短期大学を設立することになりました。その頃はまだ地下鉄や国道四号線も整備されておらず、見渡す限り田んぼと畑の中でした。学生達の通学、教職員の通勤にも厳しいものがあり、当時の保護者の方々のご厚意により、「父兄後援会」が設置され、いろいろご支援頂きました。

この会は、保護者の方々に大学を支援して頂くだけではなく、保護者、教職員が連携を取り合つて、学生達の大學生生活が眞に意義あるものとなるよう協力する会と考えております。なお、社会に出て活躍している卒業生達にも後輩のため、白百合教育のためにお力添え頂きたいと期待しております。

十月二十二日の設立総会では、規約（案）の承認、理事・役員（会長）菊地政彦様（副会長）神崎基久子様、松浦栄子様、石出信正先生（監事）鈴木茂樹、武山宏司様の選出、今年度の事業計画（案・予算（案）が審議され、お集まりの保護者・教職員の皆様の承認を得て、無事後援会が発足致しました。

そこで、在学生の保護者の方々のご協力をお願いするため後援会設立を希望し、昨年度後半から準備に取りかかり、今年三月には活動を開始する予定でした。しかしながら三月十一日に東日本大震災に見舞われ、やむを得ずその計画を延期することになりました。その後このような大災害に遭遇したことにより、教育現場においては以前にも増して在学生の保護者との連



► 學生・教職員合同研修会報告

人間発達学科教授 宇野 忍

教職員合同研修会が、二〇一一年九月十二日（月）に開かれました。（佐野講師）午前は小嶋教授が総合司会となり、「本学の教育の現状と課題」をテーマに、①五月に二年生対象に実施した満足度調査の結果報告（高橋泉教授）・結果からの示唆と提案（宇野教授）、②参加者が二十名ずつに分かれ、四班での「本学の課題と改善に向けて」のグループディスカッション、③全体でのディスカッションの三セッションが行われました。午後は山田准教授が司会となり、外部資金獲得支援を目的とする二セッションの研修、①外部資金獲得支援の取り組みと本年度採択状況報告（宇野教授）、②本年度採択研究を代表する機会になりました。



▶ 学会賞を受賞して

人間発達学科講師 佐野 裕子

この度、日本幼少児健康教育学会
学年賞（中永征太郎賞）をいた
だきました。まさか自分の論文が賞を
いただくとは思いもよらず、受賞の知
らせを聞いた時、すぐには信じられま
せんでした。保育関係の現場勤務が
長かった私は、現場の先生方や育児に
奮闘するお母様方と共に向き合ってき
ました。少しでも保育に関わる人の役
に立つことができればと、研究を重ね
てきましたので、受賞は大変光栄であ
ると同時に身の引き締まる思いです。



▶ 「泉・大学地域ネットワーク」協定締結

大学広報室長 遊佐 重樹

地域との連携協力に関する協定」締結式が開催されました。これは大学の知的資源と学生のパワーを活かした新しい市民協働のまちづくりを推進することを目的に、仙台市泉区、泉区まちづくり推進協議会、および泉区にある五つの大学の七者の間で連携協力するものです。泉区まちづくり推進協議会には、町内会、PTA、各種地域団体など四二二団体が加入しており、今後そのネットワークの活用が期待されます。協定締結式には小山京泉区長をはじめ、本学からは和田美稚子学長、そして多くの関係者が出席し、以下の事項について連携することを確認して、

- (1) 地域連携の情報収集と情報提供に関すること

(2) 地域活性化や地域課題の解決に資する活動に関すること

(3) 行催事の企画・広報に関すること

(4) 災害時支援・防災に関すること

(5) その他、目的達成に必要と認められること

今後は様々な取り組みについて連携し、協力し合って、地域の発展と人材育成に本学も積極的に取り組んで参ります。皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

▶ 泉マルシェに初出店

大学広報室 谷藤 大介

九月二十三日(金)秋分の日に泉中央駅前で行われた、震災復興支援市 泉マルシェ二〇一一に本学と紫山の仙台白百合学園(幼・小・中・高)が合同で出店し、各種グッズと広報資料の配布を行いました。当日は天気にも恵まれ非常に多くの人出があり盛況でした。またその中で白百合に興味を持つて頂いた沢山の方々にブースにお立ち寄り頂きました。時折、卒業生や在校生、関係者の方々も白百合のメントを見て訪れ、懐かしい思い出話や近況などを話されるなど、まるで同窓会のような雰囲気でした。次年度以降につながる好調なスタートとなりました

以下の写真はマルシェ出店中の活動の様子です。ピンク色のジャケットを



同窓会報告

同窓会会长 渡邊 博子

同窓会では、3月11日の東日本大震災により被災されました同窓生の皆様方に心よりお見舞申し上げます。

同窓会活動の一環として現在安否確認を行なっております。この活動につきましては、震災当初からで、4月末に発行致しました会報の返却状況を把握しながら同窓生の方々、友人や御家族の皆様の卒業生の皆様方から情報がありましたら是非御連絡をお待ちしております。

又、諸般の事情により同窓会入会式も総会も役員会で検討し中止と致しましたが、10月22～23日(土～日)の大学祭には、同窓会からも参加させていただき、ホームカミング(卒業生の活躍の紹介)、バザー(フリーマーケット・雑貨販売)などを行いました。(収益金はチャリティーに寄付させていただきます)

皆様、機会がございましたら、お気軽に是非お立ち寄りくださいませ。



紫山だより「修養会」

リエゾンオフィス室長 山田 定道

秋も深まり、ここ紫山キャンパスが紫色に染まる機会が多くなりました。今年は3月の大震災を経験したこともあり、その色がひときわ濃いように感じております。

さて、中学高等学校では、毎年この時期に修養会を実施しております。学年とテーマ、そして今年の講師の先生(神父様)は次の通りです。

学年	テーマ	講師
中学1年	よろこび	梅津明生神父(仙台教区・司教総代理)
中学2・3年	よろこび	清水勝幸先生(聖ヨセフ学園)
高校1年	よろこび	稻川圭三神父(東京教区)
高校2年	平和	品田典子さん(日本カトリック学校連合会)
高校3年	愛	竹内修一神父(イエズス会・上智大)

修養会は、自分を見つめなおす一日として、本校にとって特に大事にしている行事です。この日を迎えるまでに、宗教の授業や朝礼の話などいろいろな場面でこの日を迎える準備をします。

当日は、講師の先生からそれぞれのテーマに沿った講話をいただき、考えるヒントを得ます。その後、作業等を通して分かち合いを行い、ことばの祭儀・ミサで一日を締めくくります。この行事を通して、本校の特色としている「自己中心的な生き方ではなく、自分の能力をほかの人たち、特に弱い立場の人たちのために使うことのできる女性」に一步でも近づくようになればいいなと思っています。

生徒達が帰る時、夕焼けに染まる顔には、充実感があふれているように見えました。

本学へのTABLE FOR TWO プログラム導入について

健康栄養学科准教授 宮下 ひろみ

今世界には、飢えに苦しむ人々がいる一方で、肥満など食に起因する生活習慣病に悩んでいる人もいます。この深刻な食の不均衡を解消するため、2007年に日本で TABLE FOR TWO(略称TFT)が創設されました。直訳すると「二人の食卓」ですが、先進国の人々と開発途上国の子どもたちが、時間と空間を越えて食事を分かち合うというものです。対象となる定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金が開発途上国へ送られて子どもの学校給食1食分になります。全国ではすでに79大学がこのプログラムに参加していますが東北地区では未参加の状態です。

そこで本学では、この5月よりゼミの学生を中心にこのプログラムに参加できるよう準備を進めてきました。大学の理解と学生会議のご協力もあり、本学学生食堂にも、学生達のメニュー立案による野菜を豊富に取り入れた栄養バランスのよいTFTメニューが登場します。学生や教職員がこのメニューを1食とごとに開発途上国に1食が贈られることになります。食材は地場産物を積極的に取り入れるなどの工夫も。多くの人に食べていただきたいと願っています。



白百合祭「ESPERANZA～希望～」 を終えて

白百合祭実行委員長 深谷 紗希

10月22日(土)・23日(日)に第46回白百合祭が行なわれ、今年も問題なく無事に終えることができました。

土曜日は、天気がいいのに雨模様となってしまいましたが、日曜日は晴れてくれたので、中庭でのゲームやまちまきなど楽しめていただけたかと思います。ゲストライブでは、JONTEさんの素敵な歌声を聞くことができ、また、白百合祭を盛り上げていただけてよかったです。

今年は、東日本大震災の影響により、白百合祭の準備期間が1ヶ月遅れてしましましたが、実行委員の皆が積極的に動き、協力し合い準備をしてくれたので、白百合祭を作り上げることができました。特に、2日間で実行委員同士の団結力が強まったことが何よりよかったと思いました。

また、ご来場いただいた皆様に白百合祭を楽しんでいただけて、とても嬉しく感じました。

最後になりましたが、企業の方々のご協賛、先生方、有志団体、多くの方々からのご協力、ご支援を頂きまして心より御礼申し上げます。



2010年度財務報告 financial report

資金収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位 円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,386,304,000	人件費支出	1,063,083,606
手数料収入	18,062,300	教育研究経費支出	219,527,066
寄付金収入	7,780,000	管理経費支出	120,091,691
補助金収入	207,676,094	借入金等利息支出	35,164,140
資産運用収入	2,921,558	借入金等返済支出	157,760,000
資産売却収入	0	施設関係支出	405,300
事業収入	2,348,000	設備関係支出	30,486,041
雑収入	48,346,717	資産運用支出	0
前受金収入	219,990,000	その他の支出	4,259,991
その他の収入	36,582,886		
資金収入調整勘定	△ 292,954,094	資金支出調整勘定	△ 1,583,500
前年度繰越支払資金	408,990,066	次年度繰越支払資金	416,853,192
収入の部合計	2,046,047,527	支出の部合計	2,046,047,527

消費収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金	1,386,304,000	人件費	1,054,708,398
手数料	18,062,300	教育研究経費	455,082,170
寄付金	7,913,139	管理経費	151,445,112
補助金	207,676,094	借入等利息	35,164,140
資産運用収入	2,921,558		
資産売却差額	0		
事業収入	2,348,000	消費支出の部合計	1,696,399,820
雑収入	48,346,717	当年度消費収支差額	149,357,210
帰属収入合計	1,673,571,808	前年度繰越消費収支差額	2,958,248,745
基本金組入額合計	△ 126,529,198	基本金取崩額	0
消費収入の部合計	1,547,042,610	翌年度繰越消費収支差額	3,107,605,955

貸借対照表

平成23年3月31日 (単位 円)

資産の部		負債及び基本金の部等	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	5,551,906,007	固定負債	2,493,385,563
有形固定資産	4,820,046,807	流动負債	399,256,531
その他の固定資産	731,859,200	負債の部合計	2,892,642,094
流动資産	488,441,124		
		基本金の部合計	6,255,310,992
		消費収支差額の部合計	△ 3,107,605,955
資産の部合計	6,040,347,131	負債・基本金及び消費収支差額の部合計	6,040,347,131

追悼の祈り

カトリック研究所所長 原田 雅樹

2011年11月9日、本学講堂で、追悼の祈りの会がおこなわれました。2011年3月11日、生物、そして人間が生きることのできる陸地を準備し、安定した気候を生み出したプレートに生じたひずみのエネルギーが解放され、大地震が起きました。それによってまた大津波が引き起こされました。そこでは、多くのひとが命を落としました。20世紀最大の哲学者の一人ハイデガーは、ひとは他者に代わってもらうことのできない自らの死を自覚することによってのみ、人間は本来的な自己を回復することができるととなえました。この地震と津波で、ひとは多くの人間の死を目の当たりにしました。また愛するひとが死に、自分が生き残るという耐え難い体験をもったひとも多いと思います。ハイデガーのような自らの死の自覚だけでは、何か足りないのではないかと思う。生き残ったものが、死んだ他の記憶を抱きながらいかにして生きていくかを考えなければならない時です。地震後、多くのひとは、不便な生活の中で、場合によっては死ぬか生きるかといった状況の中で分かち合って生きることの大切さを学びました。しかし、苦しみを本当の意味で分かち合うことなど可能なのでしょうか。そして、分かち合うことのできない究極のものにみえるものが死のように思われます。神の命のうちに生きる死者と共にどう生きるか、という問い合わせが残されました。

私たちが学ばなければならないのは、共に生きることです。人間だけでなく、多様な生物と共に生きることも視野に入れなければならないでしょう。人間の活動によって生きる場を奪われ、絶滅していく多様な生物への責任を考えなければならないでしょうし、原発事故によって故郷を負わされた人々と連帯しなければならないでしょう。これらの共生、連帯への招きは、死者の記憶をいかにして生きていくのかという問いと切り離すことはできないように思われます。



第4回 白百合フォトコンテスト～入賞作品紹介～

フォトコンテストも今年で4回目を数え、今回も多数の応募を頂きました。白百合祭での一般投票による選考で入選した優秀作品をご覧ください。

金賞



神崎祥弥香「秋空」

銀賞



諏訪部桃子「SUN ライズ」

ハリウコミュニケーションズ賞
三浦麻未「青春の1ページ」



近賞
菊池香奈「求愛」



毎日広告社賞
信田理沙「晴天」



同窓会特別賞
菅原彩紀「After School」

銅賞



永沼千穂「きんもくせい」

廣済堂賞 鈴木和裕

「イーメイ・ヒス・ソン」「姉妹校SPUM3人娘」



同窓会特別賞
藤田真美「中庭」



一下記の皆様よりご協賛頂きました。ありがとうございました。

ハリウコミュニケーションズ株式会社／株式会社近宣／株式会社毎日広告社／株式会社廣済堂／仙台白百合女子大学・短期大学同窓会(敬称略)

2012(平成24)年度 仙台白百合女子大学 学生募集要項

[AO入試]

●出願期間および試験日等

	出願期間	試験日	合格発表日
Ⅲ期	11月28日(月)～12月5日(月) 当日消印有効	12月10日(土)	12月17日(土)
Ⅳ期	3月5日(月)～3月16日(金) 当日消印有効	3月23日(金)	3月23日(金)

●選抜方法 ①書類 ②小論文 ③面接

[一般入試(A日程)]

※一日の試験で全ての学科・専攻を受験することができます。

●出願期間および試験日等

出願期間	試験日	合格発表日
1月6日(金)～1月23日(月) 当日消印有効	2月5日(日)	2月10日(金)

●試験科目

学科・専攻	教科	試験科目
人間発達学科	国語	国語総合(ただし古文・漢文を除く)
心理発達専攻	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ
人間発達学科	選択	世界史B、日本史B、政治・経済、数学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ、化学Ⅰより1科目選択
子ども発達専攻	国語	国語総合(ただし古文・漢文を除く)
総合福祉学科	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ
健康栄養学科	国語	国語総合(ただし古文・漢文を除く)
管理栄養専攻	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ
国際教養学科	選択	生物Ⅰ、化学Ⅰより1科目選択
国語	国語	国語総合(ただし古文・漢文を除く)
国際教養学科	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ

●試験場 ①本学会場(仙台市泉区本田町6番1号) ②盛岡会場【ホテル東日本】(盛岡市大通3丁目3-18)

[大学入試センター試験利用入試(A日程・B日程)]

※A日程・B日程とも、全ての学科・専攻を受験することができます。

●出願期間および試験日等

センター試験利用入試 A日程	出願期間	試験日	合格発表日
センター試験利用入試 A日程	1月6日(金)～1月23日(月) 当日消印有効	大学入試センター試験日 1月14日(土)・15日(日)	2月10日(金)
センター試験利用入試 B日程	2月15日(水)～2月27日(月) 当日消印有効		3月7日(水)

※大学入試センター試験の結果により合否判定します。本学での個別学力試験は行いません。

●指定教科・科目

学科・専攻	教科	試験科目	
人間発達学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	必修
心理発達専攻	外国語	「英語」(リスニングテストを除く)、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択
地理歴史	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	
人間発達学科	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	
子ども発達専攻	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」	4教科 16科目より1科目選択
	理科	「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」	
総合福祉学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	必修
	外国語	「英語」(リスニングテストを除く)	
	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	3教科 11科目より2科目選択
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	
健康栄養学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	必修
管理栄養専攻	外国語	「英語」(リスニングテストを除く)	1科目選択
	理科	「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」	
国際教養学科	外国語	「英語」(リスニングテストを除く)	必修
	国語	「国語」(近代以降の文章)	
	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	5教科 23科目より2科目選択
	理科	「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」	

※大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目数以上を受験している場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

●ご協力ありがとうございました

仙台白百合学園

〒981-3205 仙台市泉区紫山1丁目2番1号
TEL:022-777-5777

仙台白百合女子大学・短期大学同窓会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
TEL:022-372-3595

みやぎインターラッジコープ 仙台白百合女子大店

TEL:022-771-2391

社会福祉法人 仙台白百合会

〒981-3107 仙台市泉区本田町20番15号
TEL:022-218-3008

編集後記

■「たとえ明日世界が終わりになろうとも、私は今日リンゴの木を植える」。確証はないようですが、ドイツの神学者マルティン・ルターの言葉と言われています。今年、幾度となく私はこの言葉を思いました。世界が終わるとわかったら自暴自棄になったり、思い切り享楽的になってしまふのがないように、いつ収穫できるとも知れないリンゴの木を植えるという泰然自若な仕方がないのに、高得点の科目を合否判定に使用します。

■未曾有の災害に見舞われた今年、私たちは多くの「リンゴの木」を植えたのです。しかし、それでも人がこの世に生きた事実は何があっても失われないと信じ、希望を抱いて今日を生きていきたいと思います。■今年も間もなくクリスマスを迎えます。何かと慌ただしい年の瀬ですが、心の静寂を取り戻して聖夜を迎えましょう。皆様の新年の平安をお祈りします。

(遊佐重樹)

Happy Holidays!